

## イザベラ・ラングレン・プロフィール

イザベラ・ラングレンはジャズをこよなく愛し、家ではいつもジュディー・ガーランドやビリー・ホリデーの歌が流れていたという両親のもと、スウェーデン人の心の故郷と言われる美しいヴェルムランド地方で生まれ育った。

18才の時にニューヨークのニュースクールに入学。チャールズ・トリバー、エディー・デイビスなどと活動をしながらかつてジャズを学ぶ。22才でアメリカ留学からストックホルムに帰国するやいなや、その実力を認めたレコード会社と契約しアルバム「It Had To Be You」で幸運なデビューを飾り、スウェーデン・ジャズ界にフレッシュな新風を吹き込んだ。デビュー・アルバムに参加しているスウェーデンを代表するトランペット・プレイヤー、ペーター・アスプルンドやアルバムのプロデューサー、ピアニストのクリスター・ルンクヴィストをはじめ数多くのスタープレイヤーと共演していることで彼女の注目度の高さが窺い知れる。このアルバムは日本で2013年4月に発売されチャーミング容姿で切なく歌い上げる歌唱は一躍大きな人気を博した。特に彼女はスタンダード・ナンバーをこよなく愛するシンガーであり、ノスタルジックで甘美な歌声は聴く人の心を捉えて離さない。

2013年10月にはスイート・ジャズ・トリオ「Why Try To Change Me Now」にフィーチャリングシンガーとして起用され、しみじみと心に染み入るスタンダードの名曲を唄って日本での人気を決定づけた。

2014年3月にはスイート・ジャズ・トリオのスペシャル・ゲストシンガーとして初来日。チャーミングな歌声で日本のジャズファンをすっかり魅了した。

2014年11月に発売された彼女の第2弾アルバム「Somehow Life Got In The Way」はペーター・アスプルンドをプロデューサーに、ノルディック・チェンバー・オーケストラを全曲に起用した大作。マッツ・ホリングのアレンジと指揮により前作品をライブレコーディングし、その歌唱力と豊かな表現力、そして聴く人を虜にする魅力溢れる唄声は絶賛され、いまやスウェーデンを代表するジャズ・シンガーの一人として脚光を浴びている。

この第2弾アルバムは2015年スウェーデンの有力ジャズ専門誌オルケスタ・ジャーナルでアルバム・オブ・ジ・イヤーを獲得。女性シンガーとしての同賞受賞は39年ぶりの快挙であり、彼女はまさにスウェーデンを代表する若き歌姫へと大きく飛躍した。

2015年9月に待望の新作「イザベラ・シングス・ハロルド・アーレン/ Isabella sings treasures of Harold Arlen」が発売される。このアルバム発売を記念して、アルバムと同じメンバーで11月に彼女初の日本ツアーを行う事が決定している。